

[横浜にぎわい座]
 平成 30 年度業務計画及び収支予算
 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業。○：共催事業
 を示します。
 ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標。■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市芸能センター 横浜にぎわい座
所在地	横浜市中区野毛町 3-110-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階地上13階建の地下2階から地上4階 及び地上5階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 4,358.97㎡
開館日	平成14年4月13日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

【目指す姿、果たすべき役割】

第三期5年間の目指す姿を“大衆芸能が後世に受け継がれ、横浜にぎわい座が市民に愛され、その運営や事業を通じて市民生活や地域を活性化していること”、果たすべき役割を“あらゆる市民に対して、大衆芸能の持つ魅力や可能性を様々な手法を通じて働きかけること”としました。にぎわい座の運営を担うことで、地域の活性化や、特色ある興行を目的とした来浜(=文化観光)促進などに取り組みます。大衆芸能は世代を越えて共に楽しめるジャンルです。アウトリーチなどを通じて高齢者の健康やコミュニティの活性化に資する事業を開発し、子どもについては学校教育との連携を図ります。大衆芸能はユーモアとニュアンスを含んだ豊かな日本語に触れる機会でもあり、このような特色を活かし、子どもたちのコミュニケーション力の向上や世代間交流にもつなげます。にぎわい座の運営を通じて、大衆芸能を後世に継承し、その豊かな可能性を現代社会に十分に活用していくことで、横浜の魅力を高め、芸術文化を通じた市民生活の向上に貢献します。

(2) 30年度の業務の方針及び達成目標

① 文化事業について

経常公演全体を安定的に実施し、社会の落語への関心の高まりを、観客創造・誘客・販売促進につなげ、大衆芸能への入り口としての役割を果たします。今期リニューアルした「横浜にぎわい寄席」「名作落語のタベ」の事業実績（集客、観客層の広がり、収支等）を検証し、軌道修正が必要と判断された場合は、その準備を行います。

アウトリーチや寄席体験プログラムの実施や教育機関との連携を通じて、市民や子どもの体験・鑑賞機会を増やし、大衆芸能と社会の関わりを深めていきます。

広報では引き続き、来館経験のない層や学生など若年層に訴求する手法を取り、また SNS を活用し、大衆芸能全体の知識や関心が高まる情報提供を行います。

事業を通じて地域を盛り上げ、その魅力を伝えるためのタイアップ企画を開発します。また、横浜市の文化政策事業や近隣施設、地域に根差した活動を行う NPO や文化団体、にぎわい座に関心を寄せる市民等との連携を積極的に推進します。

② 施設運営について

貸館サービスの充実と利用促進のための PR 活動等により、施設利用率を向上させます。特に 30 年度は「のげシャール」単独の知名度を上げ、使いやすさを紹介する活動を行い、練習室、制作室とともに地下の諸室の利用の落ち込みに歯止めをかけることに重点的に取り組みます。

③ 施設管理について

利用者・来館者が、安心・快適に使っていただけるように管理に万全を期します。

開館 16 年目を迎え、経年劣化に伴う不具合等に関しても、随時適切な対処を行っていきます。既定の人員配置のみに捉われず、窓口業務など必要な部門の機能強化に外部から適任人材を招聘するなどし、施設運営の基盤を整えます。

④ 収支について

にぎわい会員制度のメリットを十分に活用し、主催公演のチケット販売数を増やし、自主事業収入を増収させます。事務費、光熱水費を抑えて有効的、効率的に経費を執行し、事業収入を柱とした収入構造を作ることで、健全な施設経営を実現します。

4 業務の取組と達成指標

(1) 文化事業について

ア 大衆芸能の公演、講座その他の事業の企画及び実施

[目指す成果]

- ・毎月 1 日から 15 日の経常公演を、これまでの実績を活かして確実に実施し、事業の基軸とします。リニューアル 3 年目の寄席形式公演「横浜にぎわい寄席」は、様々なタイアップや団体誘致を行い、落語や寄席に馴染みのない層にアピールして、観客数の増加に繋がります。
- ・同じくリニューアル 2 年目の一層企画性を高めるとともに、リピート鑑賞に向けた新たなサービスを実施します。
- ・歌丸館長が目指す「垣根なく誰もが出られる演芸場」として、所属団体・流派に捉われないバラエティ豊かな出演者により、市民の大衆芸能に対するニーズに応える公演を開催します。
- ・同じく「将来の名人を育てる道場」として若手育成を継続的に実施します。
- ・学校教育と連携し、大衆芸能の鑑賞・体験を通じて、子どもの創造性や感性を育むとともに、教

育現場に関わる人々に働きかけます。市民に向けては大衆芸能ファンに限らず幅広い層に当館を知っていただき、将来の観客創造につなげます。

[取組内容]

◇幅広い大衆芸能の演目の多彩な構成による魅力的な公演等の企画・実施

経常公演事業

- ① 毎月1日から15日まで芸能ホールで自主事業を連日開催
- ② 所属団体・流派等に捉われないバラエティ豊かな出演者により、市民ニーズを満たす公演内容

- 「横浜にぎわい寄席」(毎月7回)
落語と多彩な色物で寄席の芸と雰囲気を楽しめる公演。学割や子ども料金をPRし、新しい観客を招へい

- 「名作落語の夕べ」(毎月1回第一土曜日)
古典落語を4人の演者がネタ出しで口演する、落語の名作をじっくり楽しめる公演

- 企画公演(毎月8回程度)
落語・漫才・コントから喜劇や軽演劇等まで、幅広くバラエティに富んだ大衆芸能公演を日替わりで開催

◇創造的で発信性のある取組みの実施

①創造・挑戦的な取り組み

- 企画公演(毎月8回程度)…再掲
ネタおろしや新作の発表やシリーズ公演の実施。東京落語と上方落語の比較公演など、にぎわい座ならではの公演を実現

[達成指標]

経常公演事業

- 年間 200 公演以上開催。
- 合計入場者 月平均 3,300 人以上。

- 団体を促進するイベント(幹事向けお試し鑑賞会)の実施。

- 金沢区制70周年を記念した区民優待デーの実施。

- 鉄道事業者と連携したキャンペーン企画準備。

- チケット販売数平均 105 枚以上。

- 「こども寄席」を年間 2 公演開催。

- リニューアル 2 年目。出演者の幅を上方落語家まで広げ、毎回企画性のある公演を実施。

- 同じ席で鑑賞できるシリーズ券を先行販売し、「名作落語の夕べ」ファンの定着を図る。

- 注目の二ツ目落語家の抜擢登用。

- チケット販売数 平均125枚以上。

- 気軽にグループで来場できる昼公演、じっくり堪能する夜公演の独演会など、「にぎわい座ならではの」「にぎわい座らしい」公演を連日開催。

- 演芸の歴史的な変遷を紹介する企画公演を開催。

- 「名作落語の夕べ」と連動した「上方落語会」を開催し、江戸東京落語と上方落語、それぞれの特色を紹介。

<p>●のげシャレー公演 小ホールの小劇場的空間を活かした落語、漫才、コントなどの公演や異色のコラボレーションなど</p> <p>●近隣文化施設や団体との連携による新しい舞台作品の創造</p> <p>◇若手実演家育成の仕組み作りと実践</p> <p>●「登竜門シリーズ in のげシャレー」 小ホールで開催する若手芸人が研鑽を積むシリーズ公演</p> <p>○登竜門シリーズ卒業生等の活動をサポートする「にぎわい座共催公演」を新たに設定</p> <p>◇鑑賞者の拡大を図る取組、事業を支える仕組みの構築</p> <p>●市民ニーズの把握と公演および施設運営への反映</p> <p>●観客創造事業「大人のための寄席体験」 寄席の楽しさを知るトークや解説付の落語会</p> <p>●貸切公演 団体からの要請により貸切公演を開催。新規顧客を開拓し、リピート鑑賞につなげる</p> <p>●にぎわい会員 チケット購入用の会員制度、スタート3年目</p>	<p>□年間 10 公演以上開催。</p> <p>■野毛ゆかりの評論家、故・平岡正明氏を多彩な視点から紹介する公演『革命』寄席を開催。</p> <p>■29 年度に引き続き、狂言と落語のコラボレーションなどにぎわい座オリジナル公演を開催（横浜能楽堂と連携）。</p> <p>■個性的なロケーションでのアウトリーチ演芸会の実施。</p> <p>□年間 20 公演以上開催。</p> <p>□入場者数平均 100 名以上。</p> <p>■真打昇進 3 年以上の演者は卒業とし、新規二ツ目の会をスタート。</p> <p>□年間 2 公演以上受け入れ。</p> <p>□全公演でのアンケートの実施。</p> <p>□市民サポーター等による公演モニタリングの実施 2 回以上。公演内容だけでなく、施設全体の使い勝手、バリアフリー等の意見も収集。</p> <p>□2 回以上開催、合計参加者 80 名以上、初来館者 80% 以上。</p> <p>□館外で開催の場合は、にぎわい座での鑑賞に繋げる企画を実施。</p> <p>□貸切公演6回以上開催、主催者の満足度4以上（5段階評価）。</p> <p>□にぎわい会員登録数 10,000 人達成。</p> <p>□購入履歴を活用した効果的な PR の実施。</p> <p>□にぎわいポイントカードの利用規約を改訂し、より使いやすいサービスに変更。にぎわい会員</p>
--	---

<p>◇市民の大衆芸能に関する学習活動や創作活動支援</p> <p>●寄席文化体験 動物ものまねや寄席文字など寄席に因んだワークショップ</p> <p>○「野毛まちなかキャンパス」 野毛やその周辺の魅力を掘り起こす社会人向け大学講座に大衆芸能のコンテンツで参加。野毛地区街づくり会、横浜商科大学との共催事業</p> <p>●バックステージツアー 普段知る機会の少ない舞台裏を、寄席を楽しむミニレクチャーを交えて紹介</p> <p>●アウトリーチ 施設への来館が難しい方向けや個性的なロケーションでの実演で大衆芸能の楽しさを届ける館外活動。30年度は「子育て支援」を重点テーマに、NPO等と協働で実施</p> <p>◇子どもの創造性育成の取組み</p> <p>○寄席体験プログラム（6回） 近隣の小学生が落語鑑賞と寄席独特の鳴り物などを体験する公演。公益社団法人落語芸術協会との共催事業</p> <p>●横浜市芸術文化教育プラットフォーム 「学校プログラム」 市立学校に出かけて行うアウトリーチ事業</p>	<p>カードと統合し、リピーター作りに活用。</p> <p>□野毛山動物園と連携した「動物ものまね教室」「橋流寄席文字講座」など2講座以上の開催、受講者50名以上。</p> <p>■開港160周年プレ事業としてチーフプロデューサーを中心に大衆芸能や開港以来の横浜の街に関する講座を実施。</p> <p>■企業や教育機関と連携した講座の実施。</p> <p>□講座の共催開催2回以上、会場提供3回以上、職員の講師派遣2回以上。</p> <p>□一般向け（子ども向け）3回以上、団体向けオンデマンド開催5回以上。</p> <p>□子育て支援施設での実施2回以上、若手芸人の起用2回以上、アウトリーチ先の新規開拓2施設以上。</p> <p>■市民サポーター協働のモデル事業としての実施。</p> <p>■個性的なロケーションでの演芸会の実施（再掲）。</p> <p>□参加児童1,700人以上。</p> <p>■本事業を通じた学校との情報交換など連携実施。</p> <p>□コーディネート3校以上。</p>
--	--

○教育委員会、教育機関との連携事業	■要請に応じて実施。アウトリーチ、大衆芸能を主題にした教員向け研修会など。
-------------------	---------------------------------------

イ 大衆芸能に関する情報の収集及び提供

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大衆芸能に関する多様な情報を収集し、適切に提供することで大衆芸能の魅力を広く伝えます。この分野の専門施設として相談や各種照会に対応し、市民ニーズに応えます。 ・自主事業広報は、公演毎に訴求ターゲットを意識してデザインや使用ツールを改訂し、新たな鑑賞者やファンを獲得します。 ・展示事業は、大衆芸能を紹介するものに加え、NPO や近隣学校、施設との連携も交えて実施し、より多くの市民に足を運んでいただく機会とします。 	
<p>[取組内容]</p> <p>情報収集および提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公演情報の収集 大衆芸能公演や市内の文化事業のチラシ、ポスターを配架 ●公演情報の活用 企画公演等、過去の公演情報の活用 ●情報提供、相談対応 専門施設として外部からの相談に対応 <p>広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●広報、ホームページ、情報発信 チラシ、ポスター、ホームページ及び SNS 等により、公演情報を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ■より分かりやすく手に取りやすい配架方法に変更。 ■チラシラックには「スタッフのお薦めコメント」を付けて、親しみやすさを付加。 ■町内会、野毛ちかみち掲示板を活用し通行人に向けて、にぎわい座の楽しみ方を紹介。 □電子大福帳にすべての公演情報を入力。 ■「名作落語の夕べ」などこれまでの上演演目をホームページ等で公開。 □催事開催に関する相談対応や出演者の紹介などのコーディネート 30 件以上。 □にぎわい会員を対象にメールマガジンを年間 24 回以上配信。 □Twitter を年間 400 回以上配信。 ■Twitter は公演や開館案内だけでなく、地域の行事や大衆芸能に関するミニ知識など多彩な内容で配信。 ■チラシは公演やシリーズごとに訴求対象を明確にし、それに合わせた仕様を採用。特に落語未経験者を意識した掲載内容を考慮する。 ■財団の広報・ACY グループと連携したプレスリリースの実施。

<p>●メディア懇談会 記者や編集者を対象にした懇談会を開催し、活動を紹介</p> <p>展示事業・館内演出</p> <p>●展示事業 2階展示コーナーで常設展、企画展、特別展を開催</p> <p>●館内装飾 エントランスを中心に季節の装飾を行い、来館の楽しさを高め、ホスピタリティ向上</p>	<p>□1回以上開催。</p> <p>□企画展として「中島修展」「平岡正明展『平岡的』」のほか、写真展や寄席文字展など4回以上開催。</p> <p>□「黄金町バザール2018」サテライト展示。</p> <p>□市民団体や近隣施設と連携した特別展を2回以上実施。「野毛大道芸展」「干支の絵展」など。</p> <p>■常設展も解説や展示方法を改訂し、展示の質を向上。</p> <p>□季節の館内装飾は年間10回以上展示替え。</p> <p>■写真映りを意識した館内展示の実施。</p>
--	--

ウ 街のにぎわいづくりへの寄与

<p>[目指す成果] 地域の活性化を目的に、「野毛地区街づくり会」ほか地域の団体の活動に協力し、街のにぎわい創りに貢献します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●野毛地区の飲食、物販業と連携したプロモーション活動</p> <p>●公演鑑賞と飲食の楽しみで相乗効果を図る取組の実施</p> <p>○野毛地区主催のイベントへの協力</p> <p>●MM21 地区からの誘客</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■野毛地区飲食業協同組合の「野毛通手形」（飲み歩きクーポン）に参加。</p> <p>■にぎわい座公演チケット半券提示による飲食店でのサービス提供などタイアップ実施。</p> <p>■合コン企画に参加し、新規来館者を獲得し、野毛への誘客も実現。</p> <p>■のげ茶屋（野毛地区飲食業協同組合運営）と連携し、公演鑑賞を更に楽しくする飲食サービスの提供。</p> <p>□野毛地区街づくり会内設置の「にぎわい座利用促進委員会」との共催事業の実施5公演以上。</p> <p>■野毛大道芸など地域主体のイベントへの協力。</p> <p>■MM21 地区の就業者の交流団体向けにイベント</p>

<p>●その他、野毛の魅力を紹介する公演の実施</p>	<p>を実施し、野毛への誘客を実現。イベント実施2回以上。</p> <p>■野毛ゆかりの評論家、故・平岡正明氏を多彩な視点から紹介する公演『革命』寄席、「平岡正明展『平岡的』」を開催…再掲。</p>
-----------------------------	---

エ 市民と大衆芸能をつなぐ取組

<p>[目指す成果]</p> <p>地域に根差した施設として、意欲ある市民の方に支えていただくとともに、多様な分野の市民団体やNPOとの協働により、魅力やホスピタリティにあふれ、また多方面からのアクセシビリティを実現する施設運営を行います。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●にぎわいスタッフの力を活かした施設運営</p> <p>●市民サポーター、市民団体、NPOとの協働</p> <p>●職業体験、アートマネジメント実習</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□にぎわいスタッフの声を活かすために、改善提案アンケートを年2回以上実施。</p> <p>■チケット販売促進プロジェクトの推進。</p> <p>□アウトリーチ、鑑賞者開拓、広報活動、施設へのアクセシビリティ向上、バリアフリー検証等での実績8件以上。</p> <p>■学校や学生からの要望により積極的に受け入れ。にぎわい座ならではの体験の場を提供。</p>

オ 都市戦略および他施設との連携

<p>[目指す成果]</p> <p>市内で開催されるフェスティバル事業等に積極的に参画します。にぎわい座の舞台芸術分野におけるポテンシャルや、ユニークネスを十分に活用し、他の施設や組織と協働で事業を実施することで、横浜独自の魅力ある事業の国内外への発信に取り組みます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>都市政策・施設連携事業</p> <p>●横浜芸術アクション事業「ダンス」への参画、協力</p> <p>●2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関連企画</p> <p>○「横濱ジャズプロムナード2018」運営協力</p> <p>○「TPAMー国際舞台芸術ミーティング in 横浜</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□実行委員会からの要請に合わせて、連携企画、広報協力などを実施。</p> <p>■外国人による公演モニターを実施。</p> <p>■会場運営チーフに職員を派遣。</p> <p>■会場提供、運営支援、広報協力を実施。</p>

<p>2019「横浜ダンスコレクション2019」の げシャレー公演共催</p> <p>●修学旅行や横浜での鑑賞機会提供。</p> <p>●地域文化施設との連携</p>	<p>□修学旅行、横浜遠足3件以上。</p> <p>■狂言と落語のコラボレーションなど にぎわ い座オリジナル公演を開催（横浜能楽堂と連 携）…再掲。</p> <p>■個性的なロケーションでの演芸会の実施…再 掲。</p> <p>■「黄金町バザール2018」にサテライト展示会場 として参加…再掲。</p>
---	---

(2) 施設運営について

ア 大衆芸能等の公演、練習、創作その他の活動のための施設の提供

<p>[取組内容]</p> <p>① 基本的な施設の提供</p> <p>② 利用料金の改訂</p> <p>③ 貸館の運営体制</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■開館予定日数・時間</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">開館日数</td> <td style="text-align: center;">341日 (月2回 施設点検で休館)</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">開館時間</td> <td style="text-align: center;">10時～22時</td> </tr> </table> <p>■利用料金について（平日、入場料無料時）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">10:00～12:00</td> <td style="text-align: center;">13:00～16:30</td> <td style="text-align: center;">17:30～22:00</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">芸能ホール</td> <td style="text-align: center;">25,600</td> <td style="text-align: center;">44,800</td> <td style="text-align: center;">70,400</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th></th> <th style="text-align: center;">10:00 ～12:00</th> <th style="text-align: center;">12:30 ～14:30</th> <th style="text-align: center;">15:00 ～17:00</th> <th style="text-align: center;">17:30 ～19:30</th> <th style="text-align: center;">20:00 ～22:00</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">小ホール</td> <td style="text-align: center;">7,700</td> <td style="text-align: center;">7,700</td> <td style="text-align: center;">7,700</td> <td style="text-align: center;">9,600</td> <td style="text-align: center;">9,600</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">練習室</td> <td style="text-align: center;">1,300</td> <td style="text-align: center;">1,300</td> <td style="text-align: center;">1,300</td> <td style="text-align: center;">1,600</td> <td style="text-align: center;">1,600</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">制作室</td> <td style="text-align: center;">900</td> <td style="text-align: center;">900</td> <td style="text-align: center;">900</td> <td style="text-align: center;">1,100</td> <td style="text-align: center;">1,100</td> </tr> </tbody> </table> <p>■小ホールと制作室のセット割引を設定。</p> <p>■利用状況付帯設備セット内容変更。</p> <p>■管理担当職員1人を貸館メイン担当とし、舞台技術者とも に公演打合や利用相談を担当。</p> <p>■見学対応は全員で実施。</p> <p>■舞台技術スタッフは芸能ホール3人、小ホール1人を基本 とし、小ホールは利用状況に応じて2人体制として安全管 理に注力。</p>	開館日数	341日 (月2回 施設点検で休館)	開館時間	10時～22時		10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00	芸能ホール	25,600	44,800	70,400		10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00	小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600	練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600	制作室	900	900	900	1,100	1,100
開館日数	341日 (月2回 施設点検で休館)																																				
開館時間	10時～22時																																				
	10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00																																		
芸能ホール	25,600	44,800	70,400																																		
	10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00																																
小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600																																
練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600																																
制作室	900	900	900	1,100	1,100																																

④ 要望・苦情への対応	<p>■舞台技術統括責任者は経験 10 年以上、残り 4 人も経験 5 年以上。</p> <p>■貸館に関する要望、苦情はすべて副館長まで報告。</p> <p>■内容によって財団事務局や文化観光局に即時に報告。</p>
-------------	---

イ 利用促進及びサービスの向上、アイデア・ノウハウの一層の活用

<p>[取組内容]</p> <p>① 利用率の向上</p> <p>② 利用の促進</p> <p>③ グッズの販売</p> <p>④ 1 階エントランスの活用</p> <p>⑤ 3 階売店との連携</p> <p>⑥ 新たな貸出プランの開始</p> <p>⑦ 新たな利用者サービスの開始</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/> 目標利用率</p> <p>芸能ホール：79% 小ホール：69%</p> <p>*利用可能日に対する稼働率。</p> <p>練習室：70% 制作室：50%</p> <p>*利用可能時間帯に対する稼働率。</p> <p>■土日祝日の施設空き情報をホームページ、SNS で案内。</p> <p><input type="checkbox"/> 利用希望者施設見学受け入れ 12 件以上。</p> <p><input type="checkbox"/> 利用促進のための見学会の開催 2 回以上。</p> <p><input type="checkbox"/> 練習室利用促進のため大学のダンスサークル 10 団体以上に宣伝活動実施。</p> <p><input type="checkbox"/> 練習室、制作室の紹介ツール作成 2 種以上。</p> <p><input type="checkbox"/> 多彩な利用が可能な小ホール「のげシャール」をクローズアップする PR を実施。ACY データベース登録のクリエイターや市内の美大生を採用し、SI 実施。</p> <p><input type="checkbox"/> 若手芸人公演を支援する「にぎわい座共催公演」の開催実績 2 件以上…再掲。</p> <p><input type="checkbox"/> グッズ取扱い 5 種類以上。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域イベントのインフォメーション実施 1 回以上。</p> <p><input type="checkbox"/> 団体用チケット販売所としての運用。</p> <p><input type="checkbox"/> のげ茶屋とのタイアップ 2 回以上…再掲。</p> <p><input type="checkbox"/> 撮影での貸出 年 2 回以上。</p> <p><input type="checkbox"/> 経常公演期間中の空き時間の貸出 年 4 件以上。</p> <p>■料金設定のないスペースでの撮影貸出の運用。</p> <p><input type="checkbox"/> 表方スタッフの配置サービス提供 2 件以上。</p>
---	--

ウ 組織的な施設運営

<p>[取組内容]</p> <p>① 第三期提案の実行と課題解決を実現する適材適所の配置</p> <p>② 施設の安全管理を実現するシフト配置</p> <p>③ 大衆芸能分野の専門的人材の配置及び育成</p> <p>④ その他の人材育成、チームワーク醸成</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■人材の配置</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">人数</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>課長補佐級</td> </tr> <tr> <td>チーフプロデューサー</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>課長補佐級・専門職員</td> </tr> <tr> <td>チームリーダー</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td style="text-align: center;">2人</td> <td>管理運営1、事業1</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td style="text-align: center;">4人</td> <td>管理2、事業2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td style="text-align: center;">2人</td> <td>4人2.5ポスト</td> </tr> <tr> <td>公演表方チーフ</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>2人1ポスト</td> </tr> <tr> <td>にぎわいスタッフ</td> <td style="text-align: center;">30人</td> <td>最大予定人数</td> </tr> </tbody> </table> <p>■勤務体制はシフト制とし、主催事業や貸館状況に応じて出勤職員、人数を決定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室 A 勤務（9:30～18:15） 最少2人 B 勤務（13:15～22:00） 最少2人 ・受付窓口 A 勤務（9:45～13:55）人数は状況による B 勤務（13:45～17:55）人数は状況による C 勤務（17:45～22:00）人数は状況による <p>■大衆芸能分野のプロデューサーを配置。 事業担当職員を専門職員として中期的に育成。</p> <p>■市民サポーターや地域連携推進のため、職員がファシリテーターとしての役割を發揮。</p> <p>■研修参加や資格取得を奨励。</p> <p>■特定の課題、テーマについて全職員が意見を言える環境づくり。</p> <p>■窓口スタッフの接客スキルの向上。</p>	項目	人数	備考	館長	1人	非常勤	副館長	1人	課長補佐級	チーフプロデューサー	1人	課長補佐級・専門職員	チームリーダー	1人	係長級	担当リーダー	2人	管理運営1、事業1	職員	4人	管理2、事業2	アルバイト	2人	4人2.5ポスト	公演表方チーフ	1人	2人1ポスト	にぎわいスタッフ	30人	最大予定人数
項目	人数	備考																													
館長	1人	非常勤																													
副館長	1人	課長補佐級																													
チーフプロデューサー	1人	課長補佐級・専門職員																													
チームリーダー	1人	係長級																													
担当リーダー	2人	管理運営1、事業1																													
職員	4人	管理2、事業2																													
アルバイト	2人	4人2.5ポスト																													
公演表方チーフ	1人	2人1ポスト																													
にぎわいスタッフ	30人	最大予定人数																													

エ 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など市の重要施策を踏まえた取組

<p>[取組内容]</p> <p>① 個人情報保護・情報公開</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■「財団の個人情報保護に関する規程」「にぎわい座個人情報取扱マニュアル」を遵守。</p> <p>■ファックス送信や郵送の際のダブルチェックの徹底。</p> <p>■入場券販売に票券管理システムを使用し、紙ベースでの顧客情報保管を廃止。</p>
------------------------------------	--

② 人権尊重	<ul style="list-style-type: none"> ■人権研修への参加、職場内での研修実施。 □にぎわいスタッフ向け接遇研修実施（年2回以上）
③ 環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の利用状況を細目に確認しながらの空調・照明のオンオフ操作による光熱水費の削減。 ■ゴミ処理有料化を軌道にのせ、ゴミの軽減と持ち帰りを促進。
④ 市内中小企業優先発注	<p>市内中小業者への発注率</p> <ul style="list-style-type: none"> □備品・消耗品購入 90%以上 □修繕・備品の買い替え 90%以上 □印刷物 80%以上

(3) 施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理

[取組内容]	[達成指標]
① 施設及び設備の維持保全及び管理	<ul style="list-style-type: none"> ■建築設備、舞台設備の施設保守管理業務項目一覧に明記した保全管理及び点検の遺漏ない実施。 ■委託業者により設備系及び消防系の目視点検を毎日実施。 □設備の不具合による施設貸出停止ゼロ。 □来館者アンケートにおける施設快適性評価4以上。
② 小破修繕の着実な実行	<ul style="list-style-type: none"> ■優先順位を的確に判断しての修繕、更新の実施。

イ 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

[取組内容]	[達成指標]
① 事故防止対策、緊急時（防犯）対応	<ul style="list-style-type: none"> □施設管理者有責による人身事故ゼロ。 □サービス介助士資格取得者在籍1人以上。 ■職員及び委託業者による巡回やモニタリングにより、危険、要介護者を早期に発見し、適切に対応。 ■施設の利用状況に合わせ、楽屋管理口のにぎわいスタッフが常駐し、開錠及び管理を実施。
② 感染症対策等	<ul style="list-style-type: none"> ■職員及び委託業者による巡回で異常を早期に発見。 ■汚物処理は感染症を念頭におき、効果的に実施。
③ 緊急時の体制、連絡体制	<ul style="list-style-type: none"> ■ローテーション勤務の中、予め当日の責任者を明確にして対応。 ■自主事業や観客の多い貸館公演の日は、出勤職員を増やして

	対応。原則としてリーダー以上が出勤。
--	--------------------

ウ 防災に関する取組

[取組内容]	[達成指標]
① 危機管理マニュアルの整備	■ 現行マニュアルの検証と改訂。
② 避難訓練	□ 異なる設定で全職員参加の避難訓練実施 年 2 回以上。 うち 1 回は町内会やマンション住民も交えて実施。
③ 帰宅困難者及び避難者の受け入れ	■ 非常時には一時滞在施設・避難受入施設と同等の対応を実施。

(4) 収支について

ア 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

[取組内容]	[達成指標]
① 利用料金収入の確保	■ 利用率および収入目標の達成 芸能ホール 79%、小ホール 69%、 練習室 70%、制作室 50% 収入計 21,000,000 円。
② チケット受託販売	□ 受託実績 24 公演以上。 ■ チケット取扱中であることが分かるチラシ、ポスター掲出。
③ 自主事業収入の増収	■ WEB 申込みなどチケット購入方法の利便性の向上。 □ 入場料収入 132,200,000 円達成。 ■ 団体誘致用企画（幹事向けお試し鑑賞会）実施…再掲。 □ 団体販売実績 月平均 8 団体以上。
④ 協賛金の獲得	□ 協賛（現物協賛を含む）3 件以上。
⑤ オリジナル商品開発および販売	□ 商品売上 20 万円以上。 □ オリジナルグッズ 1 種類以上。
⑥ テレビ番組収録の誘致	□ 経常公演のテレビ収録 年間 6 回以上。
⑦ 経費削減	■ 入札、見積もり合わせの徹底。 ■ 計画的なチラシ発送による郵送料の削減。
⑧ コスト意識	■ シフト調整、公演表方チーフ制による業務分担の見直し等による超過勤務削減。 ■ 超過勤務の事前申請の徹底。

イ 適切な収支構造および収支バランス（別紙のとおり）

平成30年度 「横浜にぎわい座」 収支予算書

収入の部

(税込、単位:円)

科目	当初予算額 (A)	説明
指定管理料	209,704,000	横浜市より
利用料金収入	21,000,000	施設利用料、附帯設備利用料
自主事業収入	143,539,000	公演チケット収入、講座料収入、貸切公演等の受託料収入ほか
雑入	305,000	
印刷代	5,000	チケット印刷代行、コピー代
自動販売機手数料	70,000	3階売店及び自動販売機売上手数料
その他(協賛金、事業負担金等)	230,000	「教育プラットフォーム」負担金、事業協賛金、広告料、ほか
収入合計	374,548,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	説明
人件費	101,175,000	
給与・賃金	84,549,000	館長を含む。事業スタッフ、運営スタッフ、にぎスタ給与
社会保険料	8,738,000	健康保険料、厚生年金保険料、介護保険料、雇用保険料、労災保険料
通勤手当	4,475,000	
健康診断費	62,000	健康診断、福利厚生費
勤労者福祉共済掛金	48,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	3,303,000	
事務費	6,083,000	
旅費	100,000	出張費
消耗品費	565,000	施設運営に係る文具、用紙、消耗品購入※修繕パーツ等は管理費-修繕費
会議滞在費	0	
印刷製本費	160,000	封筒等の増刷
通信費	850,000	郵送料、通話料、通信費
使用料及び賃借料	236,000	
横浜市への支払分	163,000	目的外使用料(3階売店、2階グッズ販売、自動販売機)
その他	73,000	NHK受信料、CATV契約(負担分)、PCソフトライセンス料
備品購入費	900,000	設備・備品更新 ※修繕実績の一部
図書購入費	45,000	参考図書、新聞
施設賠償責任保険	70,000	
職員等研修費	0	資格取得・維持(防火防災管理者、食品衛生責任者、サービス介護士)
振込手数料	86,000	信金振込手数料
リース料	1,710,000	PC、複合機、印刷機、AED、玄関マットレンタル
委託費	580,000	webアクセシビリティ調査・改修 ほか
手数料	340,000	支払手数料、産廃処理料
施設広報費	200,000	施設広告掲載、施設販促物作成
雑支出(渉外費)	150,000	真打昇進、落慶式典、供花等
地域協力費	91,000	町内会費、神奈川観光協会年会費 ほか
事業費	125,770,000	
自主事業費	125,770,000	出演料、広報物制作費、票券システム管理料、販売手数料ほか
管理費	108,902,000	
光熱水費	15,600,000	
電気料金	11,120,000	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
ガス料金	2,750,000	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
水道料金	1,730,000	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
清掃費	10,650,000	専有部清掃費
修繕費	1,900,000	修繕委託、修繕パーツ等の調達 ※設備・備品更新は事務費-備品購入費
舞台技術費	22,862,000	舞台技術業務のうち、日常業務、施設維持管理に係る経費
設備保全費	39,865,000	
専有部管理費	39,865,000	専有部の設備管理費、警備費、機械警備費、清掃費ほか
共益費	18,025,000	ビル共用部管理費、害虫駆除費
公租公課	8,418,000	
事業所税	20,000	
消費税	8,319,000	
印紙税	71,000	契約書用
その他(法人税、電波利用料)	8,000	法人市民税、法人県民税、業務用トランシーバー電波利用料
事務経費 (計算根拠を説明欄に記)	24,200,000	
本部分	24,200,000	(前年度事業経費-事務局繰入金)×7%
支出合計	374,548,000	
差引	0	

平成30年度 横浜市芸能センター 事業一覧

No.	実施時期	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数 見込み(人)	実施回数
1	4月-3月	にぎわい寄席	芸能ホール	毎月1～7日に開催する、公益社団法人落語芸術協会と一般社団法人落語協会による合同公演。両協会に所属芸人が同じ日の寄席に出演する、「横浜にぎわい独自の顔付け」で、落語と色物を楽しんでもらう寄席形式の公演。	8,820	84
2	4月-3月	名作落語のタベ	芸能ホール	真打4人が古典落語をじっくり聞かせる、落語通を満足させる企画。リニューアル2年目は、引き続き企画性を高めるほか、セット券導入などで販売方法も変更し、リピーターの集客につなげる。	1,500	12
3	4月-3月	企画興行 (芸能ホール)	芸能ホール	毎月8～15日に実施する、落語・漫才・コント・講談・浪曲・奇術から喜劇や軽演劇等幅広くバラエティに富んだ内容を日替わりで提供する公演。ネタおろしや新作の発表、季節にちなんだ企画等、にぎわい座ならではのラインナップ。	28,290	108
4	4月-3月	企画興行 (のげシャール)	のげシャール	小ホールの規模・特性に合った内容・出演者によるお笑いライブ等の公演。	1,200	10
5	4月-3月	登竜門シリーズ in のげシャール	のげシャール	若手演者の研鑽を積み、人気を定着させていくための場とするためのシリーズ公演。活性化を図り、真打昇進3年以上の演者は卒業とし、新規二ツ目の会をスタートさせる。	2,000	20
6	4月-3月	鑑賞者育成事業	芸能ホール	西区・中区の小学生を対象にした「寄席体験プログラム」や、若手落語家が案内役を務めて寄席や落語を楽しむヒントを提供する「大人のための寄席体験」等、鑑賞者を育成を目的とした事業。	1,780	9
7	4月-3月	講座事業	芸能ホール／その他	寄席文字体験など寄席の文化を知るワークショップ。様々なチャンネルで大衆芸能に触れる機会を創出。野毛地区まちづくり会、横浜商科大学との共催で野毛周辺の魅力を紹介する社会人向け大学講座も実施。	50	2
8	4月-3月	アウトリーチ	施設外	施設への来館が難しい方向けや、個性的なロケーションでの演芸の実演で、大衆芸能の楽しさを館外に届ける。30年度は「子育て支援」を重点テーマに実施。	200	5
9	4月-3月	学校連携	芸能ホール	全市的な取り組みである「横浜市芸術文化教育プログラム推進事業」に、大衆芸能等の分野のコーディネーターとして参画し、小中学校へのアウトリーチ活動を実施。その他、各学校からの要請に応じて公演・研修会等の企画を提供。	300	3
10	4月-3月	受託事業 ・共催事業	芸能ホール のげシャール	団体による貸切公演の受託や修学旅行の受け入れなどで鑑賞機会の創出。その他、野毛通手形と公演チケットの組み合わせ等、野毛の飲食店と連携した企画により、地域の活性化に寄与する。	1,800	6
11	4月-3月	事業連携、 他施設連携	施設外	小ホール等を優先的に提供し、公演運営に協力。	150	1
12	4月-3月	展示・館内装飾	全館	企画展(中島修展、お笑いぱっちり倶楽部写真展、寄席文字展ほか、黄金町バザール2018サテライト展示、特別展(野毛大道芸展、干支の絵展)など。	—	7
13	4月-3月	電子大福帳、ホームページ	その他	全ての公演情報、演者を入力し、大衆芸能のアーカイブ化と継承に活用。	—	
14	4月-3月	通年共通	その他	毎月の事業全体にかかってくる経費(集合チラシの作成、チケット販売手数料、郵送料等)	—	
15						